

令和5年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

○令和5年度草津市教育の重点である「スクールESDくさつ」「New草津型アクティブ・ラーニング」「配慮を要する子どもへの支援」を推進することにより、「子どもの学ぶ力」を育成するとともに、「魅力のある学校」「誰もが行きたくなる学校」「地域とともにある学校」をつくる。

【学校 目標】

○自ら考え、正しく判断し行動できる知・徳・体の調和のとれた心豊かでたくましい生徒の育成をめざす
「考動する生徒になろう」「わかりあえる生徒になろう」「きたえあう生徒になろう」

【現状と課題】

- 視点1 学習規律は安定している状況であるが、「読み解く力」を意識した生徒主体の学びには課題がある。
ICTについてはロイロノート等の導入に伴い、効果的な活用について実践を重ねていく必要がある。
- 視点2 これまでの道徳教育・人権同和教育に力を入れてきた経験を生かした自尊感情の醸成を目指すとともに、弱みである「探究的な学び」について実践していく場の設定を図る。
- 視点3 校内研究会を定期的に行い進めてきた。さらなる改善と学びの定着に向け実践を進める。
校種を超えて学び合う機会に恵まれている機会を生かし、校区研参加への意識高揚を図る。

取組事項および評価指標

※評価：【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目：9月 2回目：2月】

【視点1】学びを実感できる授業づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○「読み解く力」を意識した授業づくり ・生徒が主体的に課題を見つけ、意見を交わし、課題解決に向けて学びを深めあう場の設定から一人ひとりの達成感へつなげる。 ・ICTを効果的に活用し、一人ひとりの学びの状況に応じた学習を充実させる。	・学校評価アンケート「学校の授業はわかりやすくて、楽しい。」の項目で25%以上の強い肯定的回答を目指す。 ・学校評価アンケート「授業では、自分で課題を立てる、情報を集め整理する、調べたことを発表している。」の項目で20%以上の強い肯定的回答を目指す。 ・学校評価アンケート「電子黒板やタブレットを使った授業はわかりやすい。」の項目で30%以上の強い肯定的回答を目指す。		

【視点2】学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○認め合い「考動する」集団づくり ・学年や学級を中心に探求的な学習（及びそれにつながる学習）を進め、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする。	・学校評価アンケート「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。」の項目で25%以上の強い肯定的回答を目指す。 ・「学校全体の目標である『考動する生徒』『わかりあえる生徒』『きたえあう生徒』の意味を知り、いろいろな場面で実践を意識している」の項目で20%以上の強い肯定的回答を目指す。		

【視点3】子どものために一丸となって取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
○校内研究の推進と校区連携の推進 ・研修や研究の実践、その振り返りを通して、教職員の指導力向上を図る。	・教職員自己評価「教職員のニーズをとらえた学校課題にかかる校内研修に、計画的に取り組んでいる。」の項目で自己評価3.2を上回る。 ・教職員アンケート「校内外の研修会に積極的に参加し、自分なりの課題をもって自己研修に努めている。」の項目で自己評価3.2を上回る。		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

- ・月1回の教科主任を中心とした校内研究委員会を開き、校内研究の方向性を確認して進める。また、職員会議で学ぶ力向上策の周知を行い、実践への取組を計画的に進める。
- ・2学期に研究授業を行い、教員の指導力を高める。
- ・2学期はじめと3学期はじめに学校評価アンケートを行い、学ぶ力向上の達成を図る。
- ・教職員自己評価やアンケートを実施する。

今年度の取組の成果と課題

--